

2019 年度電気化学会北陸支部春季(石川)大会

主催 電気化学会北陸支部

日時： 6月13日(木)～14日(金)

場所： (13日【希望者のみ】) 金沢市企業局末浄水場水道施設 金沢市末町1-1 <https://www2.city.kanazawa.ishikawa.jp>

(13日) 金沢犀川温泉「川端の湯宿 滝亭」 石川県金沢市末町23-10 <https://takitei.co.jp>

(14日) 金沢大学自然科学系図書館AVホール 石川県金沢市角間町 <https://library.kanazawa-u.ac.jp>

(14日) 加賀東芝エレクトロニクス株式会社 石川県能美市岩内町1-1 <http://www.toshiba-kaga.co.jp>

第1日・13日(木)

15:00～16:00 <施設見学(希望者のみ)> 金沢市企業局末浄水場

16:00～ <受付>川端の湯宿 滝亭

17:00～18:00 <個別ディスカッション>

18:00～20:00 <情報交換会>

21:00～23:00 <若手の会・夜なべ談義>

若手の会

電子不足チエノアセンの合成と応用

中野正浩(金沢大)

ナノレオロジープリンティングのバイオセンサ応用

廣瀬大亮(北陸先端科技大)

※北陸支部恒例企画「夜なべ談義」は職場等での疑問・問題点を、電気化学を専門とする参加者全員で議論し合う場です。

第2日・14日(金)

9:10～11:00 <特別講演会> 金沢大学自然科学系図書館AVホール

9:20～10:10 電気・光特性を自在に活用できる有機材料の開発

古山溪行(金沢大)

10:10～11:00 逆型有機薄膜太陽電池(逆型OPV)の研究開発を振り返って

高橋光信(金沢大)

11:15～12:15<昼食(幹事会)>

13:15～15:15 <見学会> 加賀東芝エレクトロニクス株式会社

16:00 JR能美根上駅(旧寺井駅)解散(予定)

◎参加費：一般 18,000 円，学生 10,000 円（原則，相部屋をお願いします。二日目より参加の方はお問い合わせ下さい。）

◎参加申込：①氏名，②所属・役職，③連絡先（住所，TEL，E-mail）④浄水場見学の希望について，下記申込先まで E-mail にてお申し込み下さい。

◎参加申込締切：5月31日(金)

◎申込・問合せ先：金沢大学理工研究域物質化学系 山口孝浩

TEL: 076-234-4772, E-mail : t-yamagu@se.kanazawa-u.ac.jp

【新潟・長岡方面】

能美根上駅(16:06 発)北陸本線→ 金沢駅(16:50 発)北陸新幹線(はくたか 572 号)

→糸魚川駅(17:50 発)日本海ひすいライン → 直江津駅(18:43 発) 信越本線快速 新潟行

【福井方面】

能美根上駅(16:38 発)JR北陸本線 福井行

令和元年度電気化学会北陸支部春季大会ならびに講演会記録

令和元年 6 月 20 日
電気化学会北陸支部

企業見学会 1 (参加 5 名)

日時：6 月 13 日 (木) 15 : 00 ~ 16 : 00

場所：金沢市企業局末浄水場水道施設 (石川県金沢市末町1-1)

末浄水場のろ過方式や、金沢市内の配水範囲などのご説明の後、小水力発電設備や緩速沈殿池、急速沈殿池、緩速ろ過池を順次見学した。緩速・急速の異なる2つのろ過方式について、両者の特徴を挙げながら詳細にご説明頂いたため、理解が深まった。



「若手の会」 (参加 15 名)

日時：6 月 13 日 (木) 21 : 00 ~ 23 : 00

場所：金沢犀川温泉「川端の湯宿 滝亭」(石川県金沢市末町 23-10)

講演者および講演題目：

中野 正浩 先生 (金沢大) 「電子不足チエノアセンの合成と応用」

廣瀬 大亮 先生 (北陸先端科技大) 「ナノレオロジープリンティングのバイオセンサ応用」

北陸支部恒例企画である若手の会 (わかってんのかい) を開催した。最初に、金沢大学の中野正弘先生より「電子不足チエノアセンの合成と応用」というご講演があった。有機薄膜半導体として利用可能な π 共役系化合物の合成手法とその応用例に関する内容であり、非常に興味深い内容であった。2 件目は、北陸先端科学技術大学の廣瀬大亮先生より「ナノレオロジープリンティングのバイオセンサ応用」のタイトルでご講演があった。ナノレオロジープリンティングの基本的な手法から応用展開について、利点や研究課題を含めて説明があり、将来性のある面白い内容であった。両講演とも、研究成果やその説明に対する鋭い意見が出たり、今後の研究に関する具体的なサジェスチョンが飛び出したりと、講演途中に活発な議論が交わされており、非常に有意義な講演会であった。これからも、若い先生方、また「若い」と思っておられる大先生方に、より多くご参加頂き、この学術交流会を盛り上げるとともに、若手研究者の育成に繋げていきたい。

特別講演会（参加 50 名）

日時：6月14日（金）9：10～11：00

場所：金沢大学自然科学系図書館 AV ホール（石川県金沢市角間町）

1. 「電気・光特性を自在に活用できる有機材料の開発」
金沢大学 理工学研究域 准教授 古山 溪行 先生
2. 「逆型有機薄膜太陽電池（逆型 OPV）の研究開発を振り返って」
金沢大学 理工学研究域 教授 高橋 光信 先生

最初に金沢大学の古山溪行先生より「電気・光特性を自在に活用できる有機材料の開発」のタイトルでご講演が行われ、講演後に議論および意見交換があった。フタロシアニン類の持つ様々な特徴が紹介され、合成法の説明や電気化学特性・光特性を活かした「光線力学療法」への応用等に関するご講演があった。引き続き行われた2件目の講演では、金沢大学の高橋光信先生より「逆型有機薄膜太陽電池（逆型OPV）の研究開発を振り返って」のタイトルでご講演頂いた。最初に電気化学会北陸支部の会員へのメッセージがあり、その後、有機薄膜太陽電池の開発について、逆型素子の開発動機やドナー・アクセプター間の光誘起電子移動から始まるエネルギー変換等のご講演であった。いずれのご講演も有機半導体材料とその応用に関連する研究テーマであり、基礎研究から応用展開までを幅広く聴講できたことから、大変興味深い講演会となった。

企業見学会 2（参加 16 名）

日時：6月14日（金）13：15～15：15

場所：加賀東芝エレクトロニクス株式会社（石川県能美市岩内町1-1）

会社の概要と主要製品であるディスクリート半導体事業の事業内容、製造品目、研究開発などのご紹介があった。その後、半導体製造における前工程（製造）と後工程（組立）について現場見学があった。半導体の効率的な製造を実現するコンピュータ制御の生産体制が整備されていることが印象的であった。



以上

令和元年 電気化学会北陸支部幹事会 議事録

開催日時 令和元年6月14日(金) 11:15~12:15

開催場所 金沢大学自然科学系図書館南福利施設2階「YABU&CAFÉ 丹」
(石川県金沢市角間町)

出席者(敬称略)

(幹事) 宇野、篠原、高橋、稲葉、村田、金、井上^利、野田、山口、高村、米沢、脇坂、
井上^光、萩原

配布資料

- ・公益社団法人 電気化学会 第47回理事会議題案
- ・(公社) 電気化学会 第47回理事会 別紙資料
- ・電気化学会北陸支部 支部役員名簿
- ・電気化学会北陸支部 常議員名簿

1. 議題

(1) 本会より支部関連事項の報告

電気化学会理事会の審議・報告事項について、支部関連項目の説明があった。

①2019年度会長、副会長、業務執行理事の選任

2019年度の会長、副会長、業務執行理事が選任された。新会長は田中淳氏(昭和電工株式会社)。

②大会学生会員の件

大会学生会員について、内閣府からクレームがついているため、現在調整中。

③若手・中堅研究費の助成制度について

若手・中堅研究者の萌芽的研究に対する本会の研究費補助制度の創設の提案について説明があった。それに対し、支部負担金の財源や、負担金の具体的な額に関する質問が出た。今後、支部長を中心に支部の意見をまとめ、本会と協議に入ることとした。

④若手研究者の国際交流支援の募集について

現在、本支援に対する応募者が少ない状況にあり、比較的通りやすい状況にあることから、志望者がいる場合は積極的に申請するよう説明があった。

⑤ハラスメントトラブルについて

本会事務局に対するハラスメントが昨年度発生した旨、報告があった。北陸支部の

会員ではなかったものの、ハラスメント加害者にならないよう注意喚起があった。

⑥第 86 回大会開催報告について

ランチョンセミナーが男女共同参画推進委員会の「ランチ付交流会」と重なり、参加人数が少なかったことが報告された。また、今後の大会において、ポスターセッションの件数を少なくしていく方針であることが説明された。

⑦電気化学会表彰規則の改正について

今年度から電気化学会学術賞が 1 名から 2 名以内に改正されたことが説明された。

⑧「Electrochemistry」誌 論文投稿規程の改正について

論文投稿規程の改正について説明があった。なお、付則の元号表記は今後西暦表示に変更する予定である。

(2) 常議員と幹事の交代について

以下の通り、常議員代表者と支部幹事の交代が報告された。

- ・新日本電工株式会社の代表者の交替

代表者 村井 匠 様 ⇒ 金森 浩栄 様

- ・三協立山（株）三協アルミ社の幹事の交替

幹事 野田 耕司 様 ⇒ 日下部 智陽 様

(3) 令和元年度北陸支部秋季大会について

秋季大会は新潟大学で開催される予定であるが、現在報告できないことがない状況にある。

(4) ECS 若手研究者育成補助金の状況について

前年度より問題となっている ECS からの補助金が支部の口座に振り込まれていない件について、井上会計幹事より現状報告があった。引き続きご対応頂き、振り込みが確認され次第、幹事会等で報告することとした。

(5) その他

① 選挙管理委員会委員の推薦について

電気化学会代議員選出に伴う選挙管理委員の推薦について、立候補者が締め切りまでに現れなかったため、支部長を委員として推薦することとした。

② 電気化学会北陸支部のシンポジウム、講演会への協賛について

北陸支部として、シンポジウムや講演会の協賛について積極的に行っていきたい旨、幹事に説明があった。一方で、協賛申請に関する手続き方法が定められていないこと

から、他支部の状況などを調査し、参考にしながら北陸支部における手続き方法を整備することとした。

③ 令和2年度の支部春季大会・秋季大会について

来年度の春季大会の担当は福井地区、秋季大会の担当は富山地区であることを確認した。

以上